

## 中間検査記録

第 1 回					項	1 / 1		
発注者側	総括 監督員	主任 監督員	監督員	工事 監理者	請負者側	現場 代理人	主任(監理) 技術者	担当者
	印	印	印	印		印	印	印
個所名					請負者	和田工業株式会社		
工事名	県営大和住宅2号棟新築機械設備工事				契約番号	124900029		
出席者	発注者側	県土整備部：中島氏、永島氏			場 所	現場事務所		
		技術センター：高野氏、手塚氏			打合せ 方 式	(会議)・電話・( )		
	受注者側	和田工業：鈴木、斎藤、廣田、小山						
議 題								
1, 第1回中間検査								
指 示 内 容					対 処			
・現場の重点ポイントを挙げ、スローガンを作成し、品質向上の目的とする。					品質向上のためのスローガンを作成し 実行します。			
・MD継手（WPF-M：設計書P 4～5）の内容を確認する。					掃除口付満水試験継手（長谷川鋳工所） です。			
・さや管ヘッダー工法の作業手順書（資材の承認図、例）を作成する。					作成します。			
・当現場が高齢社対応になっているか確認する。					バリアフリー等高齢者にも対応していま す。			
・保全指導書に工事区分を明記し、責任の範囲を明確にする。					責任範囲を明確にした保全指導書を完成 時に提出します。			
・既設ポンプの設定圧力を確認し、試験圧力値設定の根拠を作成する。					既設ポンプの設定圧力を確認し、根拠を 作成します。			
・ポリブデン配管（継手絵を含め）の耐圧値を確認する。					メーカー（ブリヂストン）に確認します。			
・洗面化粧台の排水接続位置は、化粧台の底板上側で、樹脂製接続継手で行う。アキレスジョイントは使用しない。					樹脂製継手を使用し、底板上側で接続 します。			

指 示 内 容	対 処
・ 保険加入期間は工期+1ヶ月が望ましい。	期間延長します。
・ コリズ（登録内容確認書）の県担当者の名前を変更する。	変更します。
・ 建退共加入業者がある場合は、証紙受け払い簿を作成し、管理する。	証紙受け払い簿、出勤簿を作成し、管理します。
・ 上下水道の申請書は提出前のコピーを取っておく。	コピーを取っておきます。
・ 水圧試験は計画値と実測値を記入する。 水圧試験不合格の記録があっても、再試験により合格となれば良い。	計画値、実測値を記入します。
・ 工事検査記録は種別毎に作成し、順次追加記入して行く。どの系統で写真を撮るか計画して撮影する。満水試験についても同様とする。	種別毎に作成し、写真を撮る系統を計画し撮影します。
・ KY用紙に熱中症の健康確認欄を作成する。	熱中症の健康確認欄を作成します。
・ 現場の駐車場対策を考える。（建築、電気とも相談する。）	建築、電気と相談しました。今後は、単発作業員が多くなることと、レッカー作業が少なくなり、場内にスペースが出来るので、駐車可能と判断し、現場外に駐車スペースは作らないとの結果になりました。設備としては、今後の状況を見て判断していきます。
・ ごみ、産業廃棄物の減量化を工夫する事。	段ボールを自社で分別搬出など、今後工夫します。さや管工法では、部屋毎のパックにて搬入し、ごみの減量化をしています。
・ 緊急時の対応として、地震、台風時の具体的対応方法を決め、計画書に追加する。	地震、台風時の具体的対応方法を決め、計画書に追加する。
・ ポリブデン管を工場でプレカットしているので、工場での受け入れ検査を計画する事。	工場検査又はメーカーよりの確認書の提出を検討します。

指 示 内 容	対 処
・ガス気密試験の計算書、水圧試験の計算書を作成し、計画書に追加する。	計算書を作成し、計画書に追加します。
・壁の器具用補強材の位置を図面にして、納入仕様書、完成図に入れる。	壁の器具用補強材の位置を図面にして、納入仕様書、完成図に入れます。
・外流し水栓のコマを節水コマから吊りコマへ変更する。	変更します。（納入仕様書差し替え）
・UBの給湯リモコンの位置に支障がないか、居住者に確認する。	1号棟23号室の方に確認しました。不自由ではないとの返答でした。また、使い勝手が悪いという話も聞かないとの事でした。
・ピット内排水枝管の勾配（1/50）確認の記録を作成する。	排水枝管の勾配（1/50）確認の記録を作成し、記録写真を残します。
・換気扇の取付方法を確認したい。	次回の中間検査時に確認できるようにします。
・完成写真（浴室、便所、手洗い、流し）は全部の部屋において撮影する。	全室撮影します。
・給気口の位置の理由を確認する。（建築工事）の部屋において撮影する。	設計図の図示通りの位置との事です。（建築JVより） 家具の設置を考えている為、給気口の位置を高くしたとの事でした。（公和设计より）
現場指示内容	
・ポリブデンさや管の並び間隔は、見栄え良く、基準を決め施工する。	基本ピッチを80mmとしています。 但し、障害物を避ける、全体のバランスを考える等を優先としています。
・配管の支持箇所を確認し、不足を追加する事。	確認し、追加します。
講評	
本工事で優良工事を目標として欲しい。	優良工事をめざし努力します。
事故、けがに十分注意して、施工して欲しい。	安全に十分注意し施工します。